

昇天におけるキリストのビジョンと経験 (2)

わたしたちのためにとりなしておられる神聖な大祭司であるキリスト

聖書：ヘブル 7:16, 24-25. ローマ 8:34. コロサイ 3:1-4

I. キリストは、彼の昇天において神聖な大祭司です——ヘブル 7:24-25, 16 :

- A. キリストの神性は、彼を生きた、命に満ちた大祭司に構成し、そして彼は彼の祭司職をいつまでも継続させることができます—— 24 節。
- B. キリストが神聖な大祭司とされたのは、不朽の命の力強い要素にしたがってです。この命は、死とハデス [陰府] を経過した、神聖な、永遠の、非受造の、復活の命です。この不朽の命のゆえに、神聖な祭司職は命をもたらし、死を取り除きます—— 16 節. ヨハネ 11:25. 啓 1:18。
- C. もしわたしたちが神聖な大祭司である昇天したキリストを経験し享受しようとするなら、キリストの地上の務めの領域を経過して、キリストの天の務めの奥義的な領域の中へと入る必要があります。さらに、神聖な祭司職を伴う昇天したキリストは、わたしたちの経験の中で、わたしたちにとって客観的で主観的にならなければなりません——ヘブル 9:12-15. 8:1. 1:3. 13:21. ローマ 8:34, 10. コロサイ 3:1. 1:27. I コリント 15:45 後半. 6:17. 詩歌 398。

II. 不朽の命を持っている、神聖な大祭司である昇天したキリストは、わたしたちを極みまで救うことができます——ヘブル 7:16, 25 :

- A. 極みまで救われることは、全体的に、完全に、完璧に、いつまでも、永遠にわたって、最後まで救われることです。このゆえに、キリストの救いは極みにまで到達します。
- B. 神聖な祭司職は、不朽の命の救う力です。神聖な命とその豊富すべてはわたしたちの供給として、わたしたちをキリストの完全さとキリストの栄光を現されることの中へともたらしめます。極みまで救われることは、キリストの完全さの中へともたされることです—— 5:9. 7:28。
- C. 昇天したキリストは、わたしたちを極みまで救うことができます。なぜなら、彼は天で生きているだけではなく、わたしたちの中でも生きているからです。彼は天で生きているとき、ご自身をわたしたちの中へと伝達しています——コロサイ 3:1. 1:27. エペソ 1:20-22. 3:17。
- D. キリストは彼の神聖な祭司職において、死、死の結果、死の副産物からわたしたちを救います—— I コリント 15:54-57 :
 - 1. 罪は、恐ろしい結果、すなわち死をもたらしめました。罪の結果は死です——ローマ 5:12。
 - 2. 聖書の中の死についての広義の理解によれば、死はむなしさ、腐敗、ため息、うめき、朽ちていくことを含みます—— 8:20-23。
 - 3. 死の結果のゆえに、わたしたちは神聖な祭司職を通して来る救いを必要とします。
 - 4. 昇天したキリストは、わたしたちを死の副産物から救い、わたしたちを彼の完全さの中へともたらすことができます。これは昇天したキリストの神聖な祭司職の

救い、すなわち極みまで救うことです——ヘブル 7:25。

E. キリストは、ご自身を通して神に進み出る者たちを、極みまで救います。わたしたちがわたしたちの神聖な大祭司であるキリストを通して神に進み出るとき、キリストは彼の復活の力の中で、また命の霊の法則によってわたしたちを救います—— 25 節、4:16. ピリピ 3:10. ローマ 8:2。

III. 昇天したキリストは、神聖な大祭司として、わたしたちのためにとりなしており、わたしたちは彼のとりなしに応答する必要があります——ヘブル 7:25. ローマ 8:34. コロサイ 3:1-4 :

A. 神は、わたしたちを顧みるようキリストを任命しました。キリストは今やわたしたちのためにとりなすことによって、わたしたちを顧みています :

1. キリストは、わたしたちのために死なれ、復活させられたので、キリストは今日、彼の昇天においてわたしたちのためにとりなし、わたしたちを顧みています。
2. ローマ第 8 章 34 節において、キリストはわたしたちが栄光化されるようにとりなしており (17, 30 節)、ヘブル第 7 章 25 節において、キリストはわたしたちが極みまで救われるようにとりなしています。極みまで救われることは、栄光化されることと等しいのです。
3. キリストは、わたしたちのためにとりなすことによって、わたしたちの案件を担います。キリストはわたしたちのために神の御前に現れて、わたしたちのために祈っています。それは、わたしたちが救われて、完全に神の永遠の定められた御旨の中へともたらされるためです—— I ヨハネ 2:1. ヘブル 9:24. エペソ 1:11. 3:11. II テモテ 1:9。
4. わたしたちの神聖な大祭司は絶えず、わたしたちのためにとりなしておられ、わたしたちが何とつまずきやすいかということと、またわたしたちがいったん墮落したら、墮落した状態にとどまってしまうことを知っています。最終的に、彼のとりなしはわたしたちに打ち勝ち、わたしたちを服従させ、わたしたちを救います——ローマ 5:10。

B. 神聖な大祭司であるキリストのとりなしは、わたしたちの応答を必要とします——ヘブル 7:25. コロサイ 4:2. 使徒 12:1-5 :

1. わたしたちは地上で、キリストの天の務めにおけるとりなしの反映となり、とりなすキリストの祈りを祈る必要があります——ローマ 8:26-27, 34。
2. わたしたちがキリストと共に生きる目的は、諸召会のためのキリストのとりなしにおいて彼と一になることです——コロサイ 3:1-4 :
 - a. 上にあるものを求めることが意味しているのは、わたしたちがキリストの天の務めに応答することです—— 1 節。
 - b. わたしたちは上にあるものを求めるとき、キリストの天の務めに応答し、それを反映します。
 - c. かしらであるキリストは、わたしたちの祈りを通して、彼のからだを通して彼のエコノミーを遂行する道を得ます—— 1:18. 2:19. 3:1-2。
 - d. キリストがとりなしをしているとき、からだであるわたしたちは地上で働いて、キリストのとりなしに応答し、彼が行なっていることを反映します——ヘブル

2:17. 4:14. 7:26. 8:1-2. 啓 5:6。

3. 天のキリストと地上でのわたしたちとの間には、神聖な伝達が、すなわち天的な電流があります——エペソ 1:22 :
 - a. わたしたちはこの伝達を受ければ受けるほど、ますます神聖な大祭司である昇天したキリストのとりなしに応答するようになります——ヘブル 7:25。
 - b. もしわたしたちが継続的に神聖な伝達を受けて、昇天したキリストとわたしたちとの間の交流を経験するなら、わたしたちはキリストのとりなしに応答するようになり、主は地上で道を得て行動し、神の永遠の定められた御旨を成就します——エペソ 1:11. 3:11. ローマ 8:28。
4. もしわたしたちが上にあるものを求めて、キリストと一つの命、一つの生活を持つなら、主の事業で完全に占有されるようになります——コロサイ 3:1-4, 17 :
 - a. わたしたちの心は、天において彼と共にあるようになります。そこで、彼は諸召会のためにとりなしており、聖徒たちを供給し、神の行政を執行しています。
 - b. わたしたちは、主の天の務めにおいて彼と一になることと、彼の心と一である心を持つことを切望すべきであり、昇天したキリストのとりなしにおいて彼と一になることを渴望すべきです。